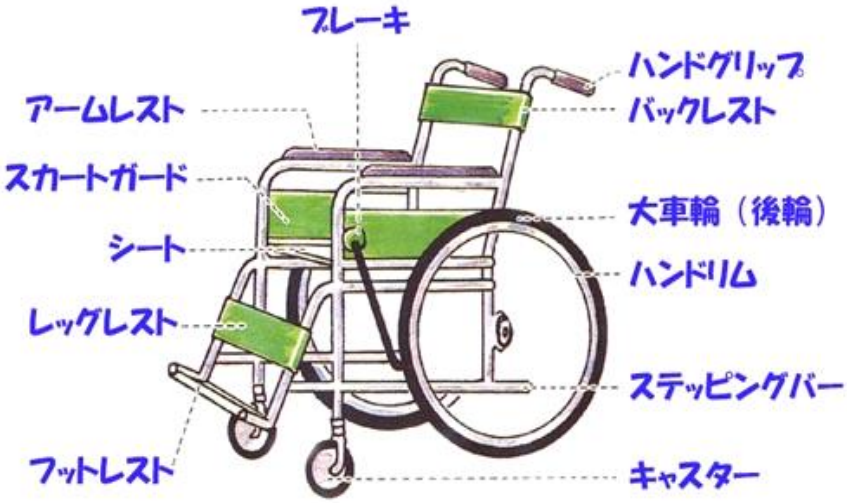
１　車椅子の主な名称

車椅子の主な仕組み



２　車椅子の種類

レディメイド（既製品）　オーダーメイド　モジュール型（セミオーダー）

①普通型
②片手駆動型
③リクライニング・チルト型
　リクライニングとは・・背もたれ部分を後方へ倒すことができるようにしたもの。背なかや腰の伸展により座面に掛かる体重を分散させる。しかし、実際には姿勢の崩れを助長させやすい。背もたれ角度を調整し終わったら正しい座位となっているか確認することが大切！
　チルト（ティルト）とは・・座面と背面の相互角を『ある角度』に保ったまま斜面調整できるもの。座面にかかる圧力をチルトによって背に逃がすことができ姿勢の崩れが起きやすい人に有効。
④スタンドアップ車椅子（起立機能つき車椅子）
⑤スポーツ型
⑥電動車椅子
⑦ハンドル型

３　車椅子の操作

★車椅子の広げ方、折りたたみ方

必ずブレーキがかかっているか確認しましょう。

★移動する時

車椅子を押す前の注意と確認

①浅く腰かけていないか。

②体は傾いていないか。

③手はアームレストやひざの上にのっているか。

④足はフットレストにのっているか。

⑤ベルトはしているか。

移動時

①声をかけましょう。(「動きます」「止まります」「前を上げます」など)

②スピードを出さない。

③つま先に気をつける。

★押し方

上り坂：体を少し前傾にして前向きに上ります。

下り坂：ゆるい坂道の場合は前向きでもかまいませんが、後ろ向きの方が安全です。坂を前向きで下りている時に急に止まると、前のめりになって落ちることがあるので注意が必要です。

段差：

〈上がる場合〉①段差に直角に車椅子を止め、ステッピングバーを踏み、ハンドルを下に押し下げてキャスターを上げたまま進み、段の上にキャスターを下ろします。

②後輪が段にぶつかったところでハンドルを持ち上げながら押しあげます。

〈下がる場合〉①後ろ向きになり段差に直角に車椅子を止め、ハンドルを持ち上げながらゆっくりと静かに段の下に下ろします。

②キャスターを上げて後方に下がり、段差から離れてフットプレートやつま先が当たらないようにキャスターを下ろします。

溝を超える場合

① キャスターが溝にはまらないように手前であげます。
② 溝を越えた場所に、ゆっくり静かにキャスターを下ろします。
③ 力を入れてハンドルを持ち、後輪が溝に落ちないように通過します。この時、児童・生徒が落ちないように気をつけましょう。

４　「では、実践してみましょう！！！」

1）ゆっくりと

動作は急がず、ゆっくりと行う。安全を確かめて！

2）不安にさせないで

落ちそうだという不安を与えないように注意します。

急発進、急停止はだめ！！

3）無理をしないで

自分独りではできそうになかったら、たすけてもらいましょう。